

編集後記：年末に年賀状を書きつつ、久しく会っていない友人への決まり文句となっていた「今年こそ会いましょう」に、今回は格別の意味が含まれるようでした。気象学会の様々な会合もオンラインとなり、皆さまとも直接お会いできない日々が続いております。ともあれ、新しい年もひと月が過ぎようという頃、「We will meet again」と希望を持って歩みを止めずに進んでいきたいと思えます。

「天気」についても、昨年以來、着実にいろいろな変更が進められています。例えば、電子出版対応の文字フォントへの変更（お気付きでしょうか?）、各号全ての記事をひとつにまとめたPDFファイルの会員限定公開の開始、オンライン「天気」での目次の掲載（https://www.metsoc.jp/tenki/?目次_68_01）、論文・

短報・解説の電子投稿の試行など。そして今月号に掲載の「投稿案内」では、掲載料の見直しを行っています。投稿予定の場合はぜひご注意ください。

いろいろな活動が制限される中でも、自身を取り巻く仕事環境をはじめ、社会の実相は常に変化をしていることを実感します。私自身は、こんなことでもなければおそらく手を出さなかったはずのオンラインコミュニケーションに必要な様々なツールやガジェットを若い同僚に教えてもらい、目から鱗でした。外部からの刺激が少なくなるとつい何事にも腰が重くなりがちですが、これを乗り切った先にきつと笑顔で集えることを楽しみに、自らの惰性と慢心に日々打ち勝っていきたいです。

（大塚道子）